

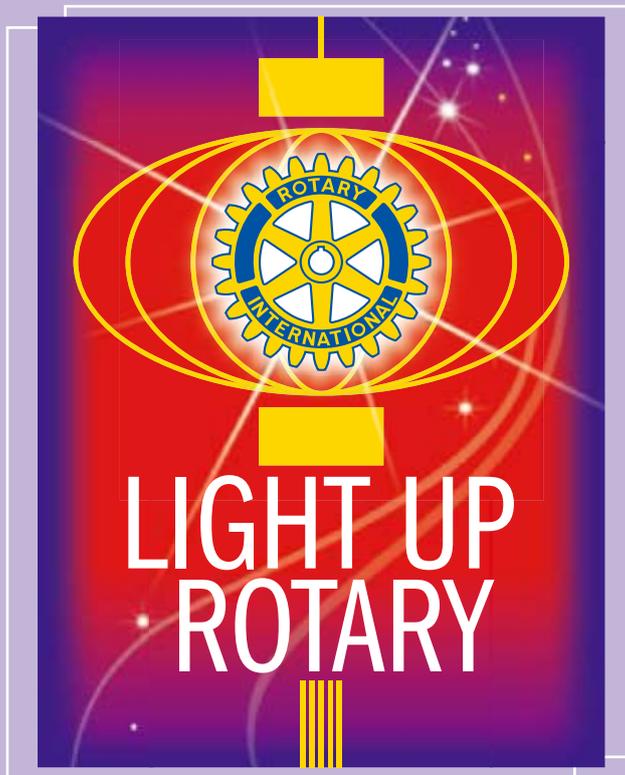
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014—2015 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー月信 **1** 月号

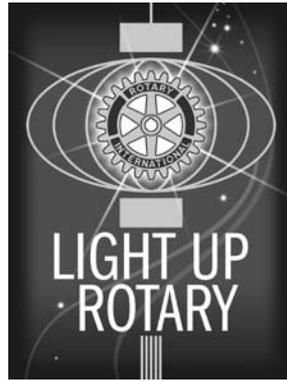
Vol.

7



国際ロータリー 第2660地区
2014—2015年度ガバナー

泉 博朗



2014-2015 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 1月号

CONTENTS

Vol.7

ガバナーメッセージ (ロータリー理解推進月間)	1
ロータリー理解推進月間にあたって	2
ローターアクト海外研修 報告	3
米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト 報告	5
インターアクト年次大会 報告	6
地区大会 報告	7
地区研修・協議会 会計報告	8
ロータリー財団情報	9
ガバナー補佐が選ぶ 魅力ある奉仕活動 (IM1・2組)	10
コーディネーターニュース	15
米山奨学委員会／ロータリー財団	16
2014年11月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

ロータリー理解推進月間にあたって ロータリーの歴史を学ぼう

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



1月はロータリー理解推進月間であります。会員の皆様が、より深く、ロータリーをご理解されるという月間であります。ロータリーはすでに100年の歴史があります。その歴史を学ばれるのもいいのではないのでしょうか。「ロータリーの友」や、わが地区では「ロータリーの心と実践」という資料がありますので、知識、現状や他地区の活動、世界の活動については、日ごろから目にされておられることと思います。なによりも、皆様の日常の活動こそがロータリー活動であることは、間違いのないことでもあります。

ロータリーの歴史をさかのぼり、創始者でありますポール・ハリス氏の人となりに触れることがロータリーを知る最短の方法ではないのでしょうか。

まず、ネットで「ポール・ハリス語録」で検索してみましょう。「職業奉仕の魅力」、「自分の職業を高揚することの楽しさ」について知ることが出来ます。そして、「要するに、ロータリーは、ひとりひとりの会員を育て、その奉仕能力を高めるために存在します。」と言われております。ロータリーの在り方については「ポール・ハリスの合理的ロータリズム前編・後編」を楽しんでください。「寛容の精神」につ

いて話されています。

次に「ロータリーの4つのテスト」で検索してください。4つのテストの由来を知ることができでありましょう。すこし難しいかもしれませんが「ロータリー章典」、「ロータリー財団章典」もいいでしょう。このように、皆様がロータリーの歴史を知り、ロータリーの楽しさに浸っていただければ幸いです。

また、ロータリーを一般の方々に理解していただくことも推進していただければと思います。いわゆる、公共イメージの向上であります。これについては、是非とも「ロータリーの友」を活用してください。「ロータリーの友」を知り合いの方、地域の方に配布していただければ幸いです。また、地域の方々に卓話をお願いしたり、公開例会をして、地域の方々をお呼びしたり、地域との交流を計っていただければと思います。

ぜひとも「ロータリーデー」を実施していただきたく思います。

地区では5月5日に「ロータリーフェスティバル」を行いまして、全員参加でロータリーを地域の方々に理解していただくことを推進したいと思っております。

ロータリー理解推進月間にあたって

パストガバナー

大谷 透

(大阪西南RC)



謹賀新年

一月はロータリー理解推進月間です。

『一年の計は元旦にあり』、年頭にあたり、ロータリーの目的や信条を再確認して、新しい年を歩み出すようにと、1月をロータリー理解推進月間に定められたのだと思います。ここで改めて次の2つの質問に自分ならどう答えるだろうかと考えながら、基本を振り返って見るとは如何でしょう。

- ①ロータリークラブ入会の目的は？
- ②ロータリーの云う人生の目的とは？

それは「これぞロータリアンと云われるべき人間像」に近づこうと努力することです。

毎月発行される「ロータリーの友」の6頁にはロータリーとは、その誕生と成長、日本のロータリー、年度のR Iのテーマ、に合わせて必ずロータリーの目的(綱領)と四つのテストが掲載されています。

目的(綱領)は一言で云えば：Ideal of service(奉仕の理念)を隣人に対して実践せよと云うことで、その下の4項目は目的が4つあるのではなく、(1)友人、(2)職業、(3)地域社会、(4)国際的、に関わる人も隣人なのですよと念を押してあるだけなのです。

問題はserviceの意味を正しく理解する事です。サービスとは「人(々)のニーズを満たそうとする行為」です。そしてIdealとは達成度において、最高位にランクされる事柄ですから、「Ideal of service」とはその人のニ

ーズをその人にとって理想的と思われる様なかたちで満たす事です。そのように努力しましょうと云うのがロータリーの目的(綱領)です。

「四つのテスト」は自分の言行がロータリアンとして適切かどうかを評価する時に用いるべき基準とされています。

ロータリー創立50周年の1954年にR I会長となったハーバート・テラーは、1932年に倒産寸前にあったアルミ調理器具の会社を再生させるために、この「四つのテスト」の実行を従業員に徹底させて、その会社を立派に再生せしめました。

彼は後に、旧約聖書のエレミア書9章23・24節を引用して、次のような内容の言葉を述べています。「我々の言行を四つのテストに適ったものとするための奥義とは、正義と慈愛の絶対者なる神を恐れ敬う謙虚な心を持つことである」。

即ち、神仏の前で申し開きの出来る行いであるかどうかを絶えず反省する謙虚な心を持つ事だと云うのです。

『得意而忘言』(意を得て言葉を忘れる)。

ロータリー理解が推進し、目的(綱領)や4つのテストのところが身に付いてしまえば、その文言は忘れてしまってもよいのですが、それが達成されるまでは、言葉に頼る必要があります。この機会に目的の文言をしっかりと覚え、その理解を深める事の大切さを再認識することが期待されています。

ローターアクト 海外研修報告

in Cambodia (Phnom Pehn)

地区ローターアクト委員会 委員長 **山本和良**
(大阪南RC)

地区ローターアクト 代表 **北島一平**
(大阪御堂筋本町RAC)

11月22日(土)~26日(火)に海外研修を行いました。海外研修は、

1. 他地区のローターアクトとの交流
2. 現地ローターアクトとの共同奉仕活動
3. 研修参加者が和やかで友好的な雰囲気を持ち、安全で秩序ある団体行動を続ける為に、研修プログラムを精力的かつ主体的に消化し、参加者全員が有意義な海外体験を積み、今後における国際奉仕活動の学習を行う。

を目的としています。

今年度の行先は、カンボジア王国・プノンペン。第3350地区プノンペンメトロRACを訪問いたしました。当地区よりRA委員3名、ローターアクト23名の計26名が参加いたしました。

【11/22(土)】

朝、関西国際空港にて結団式を行い、一路カンボジアへ。

到着後、プノンペンメトロRACと合流し、食事へ。食事をしながら、英語で自己紹介を行い、お互いに交流を図りました。

【11/23(日)】

プノンペンメトロRACが支援しているタケオ州の孤児院へ。悪路をバスで3時間、川を船で15分、やっとのことで到着しました。

ここでは、プノンペンメトロRACと共同で子供たちに歯磨き、手洗い指導、カンボジアの遊び、日本の遊びを教えました。日本の遊びはグループに分かれ縄跳び、紙相撲、折り紙、けん玉を行いました。

最後に子供達に学習用具、歯ブラシセット・ユニフォーム等を寄付しました。学習用具を受け取る子供達の笑顔に、今後のカンボジアの発展を強く願いました。

【11/24(月)】

プノンペン市内のコミュニティセンター2施設を訪問し、現地の子供たちと日本の遊びを通じて交流しました。

ここでも学習用具を寄付しました。子供達からはカンボジアの伝統舞踊を披露してもらいました。

昼食は今年6月末にオープンしたイオンモールで取りました。吉野家や銀だこなどの日本の飲食店も出店しており、久々の日本の味を噛みしめました。

夜はExchanging Partyが催されました。代表の北島による2660地区の紹介、プノンペンメトロRAC Brembrey会長によるクラブ紹介、双方から出し物(当地区は男子がソーラン節、女子がドラえもん音頭)を披露しました。

【11/25(火)】

セントラルマーケットを散策し、トゥール・スレン虐殺犯罪博物館を見学しました。

1975~1979年にクメール・ルージュが「革命に学問は不必要」という理由で、医者や弁護士等の知識人をはじめ罪のない人々を次々と捕え、強制労働させ、また仏教の廃止や親族解体も行いました。当博物館は、当時無人だったリセ(学校)を尋問・拷問する場所に転用し、2年9ヶ月の間で14,000~20,000人が収容されたとされる施設です。のどかに見えるカンボジアも悲惨な過去があったと感じさせられました。

【11/26(水)】

前日にプノンペンを発ちホーチミン経由で早朝に関西国際空港に到着し、解散いたしました。

ポル・ポト政権が崩壊し25年が経過しましたが、今日のカンボジアの発展においてもその影響は大きく残っています。特に教育分野においてはその影響は特に深刻です。

知識人の虐殺により、現在も教師等の教育者が不足している状態です。学校の多くは破壊されたため、子どもたちの学ぶ場も不足しています。インフラも不十分で、舗装されていない道路も多くあります。孤児院でも下水機能がなく衛生面にも大きな問題がまだまだ残っています。

我々、日本のローターアクトも何かできることが

あるのではないかと、やらなければならないと考えさせられました。

一方でプノンペンの発展は目指しく、街全体が活気に溢れています。再度、訪問した際にどれだけ変わっているか楽しみです。

トラブルも起こりましたが、トラブルや不測の事態にいかにか臨機応変に対応できるか、そのトラブルをいかに楽しむかということが海外研修の醍醐味でもあると考えております。

海外研修ではローターアクターの仲間もグッと近くなります。

今回の研修で学んだ事、深まった絆を今後のローターアクト活動に活かしたいと思えます。

参加したローターアクターは、今後もプノンペンメトロRACと交流していただきたいと思えます。

Chris会長をはじめとするプノンペンメトロRCの皆様、Brembrey会長をはじめとするプノンペンメトロRACの皆様、ありがとうございました。



第5回

米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト 報告

米山奨学委員会 委員 吉 馴 茂 子

(大阪アーバンRC)

日 時：2014年11月8日(土) 13:00~16:00

場 所：ホテルニューオオタニ

審 査 員：若林PG、岩田PG、磯田研修委員、近藤委員長、デュネス学友会員

地区委員：近藤委員長、福田副委員長、田中副委員長、西谷委員、北山委員(司会)

島井委員、三木委員、堀委員、岡部委員、鹿浦委員、石井委員、吉馴各委員

出 席 者：2014奨学生24名、カウンセラー14名、学友会10名、クラブロータリアン26名

PG2名、地区委員12名

出 場 者：2014年奨学生10名 スピーチ1人7分

スピーチが始まると先ず奨学生達のスキルとしての日本語の上達力に驚かされ、やがてすぐ会場の全参加者が緊張に包まれ聞き入ることになったのです。学生達は種々の抱負や不安を胸に一人で日本に渡ってきたのです。そして米山奨学生になって今は秋、年の前半を終えて、少し落ち着いた所になります。

日本での生活、人間関係、ロータリークラブ、日本、世界、自国そして今後の自分の生き方に及ぶスピーチ内容には、清新なレベルの高さが感じられ場面もあり、感動やワクワク感もあつたりで思わず時間が過ぎたのです。

1人の学生が米山奨学金に感謝する一つの理由

として、奨学金を口座振り込みでなく毎月クラブ例会参加で手渡される事をあげました。例会では、カウンセラーを始め ロータリアンの皆さんと毎回色々懇話ができ、世話クラブでは、歓迎会や青少年養成クラブにも入れて頂いたりしている中で、自分はやがて日本にいる間にリーダーシップ力を育てたいと考えた様になったとのスピーチがありました。

この様な若い力の育成に米山奨学金やロータリークラブ、更に日本人の品格が大きく関わっている事が重く感じられ感動致しました。

「一粒の麦もし滅せざれば」生涯に亘って米山奨学会の理想と親善、そして何より日本人の誠意を時折思いだして頂き、どうか栄えある人生を!

【表彰式】 最 優 秀 賞 馬 惠英(台湾) 「目に見えないものを大切に」
大阪スクールオブミュージック 世話クラブ：大阪咲洲RC

優 秀 賞 張 雪晴(中国)
「米山奨学生として感じた事~私の小さな異文化体験」
大阪ハイテクノロジー専門学校 世話クラブ：大阪ネクストRC

岩田特別賞 朴 商云(韓国)「それでこそ米山奨学生」
摂南大学 世話クラブ：香里園RC

若林特別賞 ラマナナリボ ミハリフィデラナ(マダガスカル)
「米山奨学金を選んだ理由と米山奨学生として感じたこと」
大阪大学 世話クラブ：摂津RC



インターアクト年次大会 報告

インターアクト委員会 委員長

鮫島武信

(大阪南RC)

2014年11月9日(土)、金光八尾高等学校・中学校にて、泉博朗ガバナー、井川孝三ガバナー補佐、山本和良ローターアクト地区委員長をお迎えして、金光八尾高等学校・中学校インターアクトクラブがホストクラブ(スポンサークラブ 八尾RC)となり、インターアクト年次大会が開かれました。

参加者はインターアクター116名、顧問16名、保護者2名、ロータリアン46名、留学生4名、ローターアクト4名、事務局3名に、NPO法人アクセス10名を加えて、総勢201名のエントリーを得て盛大に行われました。

年次大会は当2660地区の7校(大阪桐蔭、浪速、金光八尾、四天王寺、清風、相愛学園、大阪国際大和田)のインターアクトクラブ合同で行う最大のプログラムです。

泉ガバナー、本荘忠彦金光八尾高等学校・中学校校長や中川将八尾RC会長の挨拶を頂き、年次大会は始まりました。泉ガバナーの挨拶では、四天王寺高等学校・中学校の岡宏治顧問が大阪私立中学校高等学校連合会からインターアクトクラブの顧問を長年お務めになった功績により表彰されたことも、披露されました。

次に、7校の参加インターアクトクラブから本年度の活動報告が、パワーポイントなどを用いて行われました。各校とも、募金活動や、地域の清掃活動などの奉仕活動の状況が報告されました。また、8月に行われた台湾での海外研修状況が、長編の動画に編集されて上映されました。

午前中の最後の行事として、NPO法人アクセスの野田沙良事務局長の講演が行われました。本年の年次大会では、NPO法人アクセスにより、フィリピンの恵まれない少年少女に、文具を送ることを行事の柱としています。

講演では、フィリピンのスモークマウンテンなどの恵まれない地域の子供たちが、働きながら生きていかなざるを得ない苦しい生活環境や、その中でも笑顔忘れずに暮らす様子などが、スライドと演者の巧みな話で紹介されると共に、我々が彼らに対して何ができるのかを考えさせられる内容でした。高校時代に自分は何のために生きていくのかを

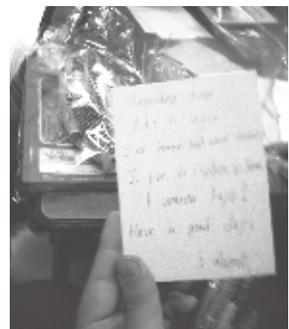
真剣に考え続け、考え続けた結果が国際的なボランティア活動であったとの、演者の自らの学生時代を振り返っての話は、若きインターアクター達にも共感と示唆を与えることができたものと考えます。

午後からは、NPO法人アクセスの関係者と大学生などのボランティアの皆様の協力により、インターアクター達がグループに分かれて、フィリピンの恵まれない地域の月収によって、どのように暮らしていくかを自分達で設計する家計簿シミュレーションが行われました。このシミュレーションでは、病気や舟の故障修理などの突然の出費の発生など、実際にどのように暮らしていけば良いのか、当惑せざるを得ない状況を、インターアクターに実感させるように工夫された内容でした。

最後に、各校のインターアクトクラブが各学校内にて呼びかけて集めた文房具を、ラッピングしました。ラッピングには、英語などで思い思いのメッセージを書き込むことで、物だけを送るのではなく、気持ちも届くように配慮されました。

当地区の全インターアクター達が一同に会した充実した大会となり、奉仕は、他人のために行うのではなく、最後は自分のために一人一人が進んで行うものであることを、再認識した一日となりました。

本日のため長きに亘って準備して頂きました金光八尾インターアクトクラブを初めとして、各クラブと顧問の先生方、関係ロータークラブの皆様に感謝いたします。今後ともインターアクトに対し、ご支援とご協力をお願い申し上げます。



地区大会 報告

地区大会実行委員会副委員長

竹川 修司

(大阪帝塚山RC)

地区大会の目的は、ネットワークを広げ、感銘深い講演を聴き、ロータリーのさまざまな話題について話し合うことです。また、地区における奉仕活動や広報の成功例を紹介することによって会員の奉仕意欲を高め、クラブレベルを超えたロータリーのビジョンを共有し、思い出に残る親睦を経験してもらうことも地区大会の目的です。地区大会で為すべきことは、RI会長代理による講演2回、財務報告や各種決議案の討議と採択、ガバナーノミニや種々の審議会の委員を選出する(該当する場合のみ)等々があり、討議・審議の場等々、様々な役割をこなさなければなりません(以上、RI地区大会手引書から引用)。

そのような地区大会を開催するには応分の経費が必要です。地区大会の内容は、概ね春の地区研修・協議会に近似しています。言い換えれば、地区研修・協議会を2日開催し、それにRI会長代理歓迎晚餐会を付加すれば、地区大会のパッケージプランが出来上がります。地区研修・協議会は1回あたり

850万円、地区大会RI会長代理歓迎晚餐会は600万円程度の費用が掛かります。また地区大会ならではの事務経費・その他経費も400万円程度必要です。即ち、 $850+850+600+400=2700$ 万円が地区大会開催のための最低経費として入用です。収入は4200万円前後ありますので、差額の1500万円が地区大会を盛り上げるためのイベント費用ということになります。今年度は、映像関係を全て取りやめ、1500万円全てを講師陣の費用に充当しました。

幸いにして、地区の皆様からご支持ご支援を頂いた結果、大会1日目は出席申込約1,150名で入場実数929名、大会2日目は出席申込約2,300名で入場実数1,972名の、多数の方々にご参加頂き、お陰さまで、盛大な地区大会を催すことができました。

これもひとえにお越しいただいたロータリアンとそのご家族の方々のご好意ご協力の賜物と感謝しております。

ありがとうございました。



地区研修・協議会 会計報告

地区研修・協議会 実行委員長

藤田 誠一郎

(大阪帝塚山RC)

幹事

田邊 千尋

(大阪帝塚山RC)

会計

小島 康秀

(大阪帝塚山RC)

開催日：2014年4月19日(土)

会 場：大阪国際会議場

ホストクラブ：大阪帝塚山ロータリークラブ

収入の部

会員数	負担金	クラブ数	収入金額
29名以下のクラブ	90,000	27	2,430,000
30名以上のクラブ	110,000	56	6,160,000
利子			806
合 計		83	8,590,806

支出の部

項 目	内 訳	金 額	項目別小計	内 訳
会場費	会 場	3,215,301		国際会議場・会場案内板等
	音響・照明	1,112,400		音響照明等装置
	飲み物等	141,730		飲み物・昼食・懇親会
	小 計		4,469,431	
会合費等	室料等	251,381		実行委打合せ等
	小 計		251,381	
印刷費	プログラム	686,880		当日配布
	資料その他			
	小 計		686,880	
記録費	記録冊子	1,512,000		
	小 計		1,512,000	
謝礼金	講演料等	62,972		講師,ピアニスト・謝礼宿泊費
	小 計		62,972	
人件費	給与等	1,337,900		事務局員給与・厚生費
	小 計		1,337,900	
雑 費	振込手数料	9,456		
	事務費・交通費	28,581		文具・コピー代・交通費
	保険料	27,200		
	小 計		65,237	
合 計			8,385,801	

収入の部	支出の部	残 高
8,590,806	8,385,801	205,005

2014-15年度の為の地区研修・協議会会計決算を平成26年9月17日に大阪帝塚山ロータリークラブ事務局にて開催し、帳票類、領収書等を精査した上で、上記の通りであることを報告します。

平成26年9月17日

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信

(東大阪東RC)

【ロータリー財団地域セミナー報告】

2014年11月25日(火)にロータリー財団地域セミナーが東京 台場のホテルグランパシフィックLE DAIBAで開催され、各地区から約280名が参加し、ロータリー財団の最新情報や学友の活動の報告などが行われました。ゲイリー・C.K.ホァンRI会長、ジョン・ケニーロータリー財団管理委員長、田中作次直前RI会長も出席し、日本のロータリー活動に対する世界の期待がうかがわれました。

ロータリー平和フェロー13期生(2014-2016)として、国際基督教大学大学院修士課程公共政策・社会研究専攻にて政治・国際研究を学んでいるインド出身スルビ・キャティはスピーチで、自分が考える平和、ロータリーが世界のために考える平和、われわれ一人一人が人間として当然の権利である平和を推進すべく、キャリアを積んでいきたいと話しました。

UNICEF東京事務所代表 平林国彦医師はポリオ根絶の実現に向けて最後まで手を緩めずに活動を継続することの重要性を強調しました。

また、元国際親善奨学生で、JAXA(宇宙航空研究開発機構)勤務の島田潤 財団学友(2770地区)、2770地区VTTチームメンバーの文村優一医師等の報告、ロビーではUNICEFの協力のもとインドのポリオ撲滅活動の写真が展示されました。

翌26日(水)には、メジャードナー顕彰午餐会が開催され約250名が参加。RI会長、財団管理委員長より多大な支援に対する感謝の辞が述べられました。

【第4回 日本ロータリー学友会全国大会】

11月15日(土)、海洋大学にて第4回日本ロータリー学友会全国大会が開催され、日本全国から約60名が参加しました。

当2660地区からは佐藤俊一元地区財団委員長、元GSE生田英輔アルムニ会会長、元国際親善奨学生松上純一郎PSC会員が参加しました。幅広い経験と才能がある学友達がグローバルに繋がれば、より一層大きな力となります。

【ポリオ症例数】

2014年11月3日現在のポリオ症例数です。

	2014年1月1日~12月3日	2013年
アフガニスタン	23	14
パキスタン	268	93
ナイジェリア	6	53
ポリオ常在国以外		
エクアトリアル・ギニア	5	0
イラク	2	0
エチオピア	1	9
カメルーン	5	4
ケニア	0	14
ソマリア	5	197
シリア	1	35
世界合計	316	416

パキスタンで今年のポリオの発症者数が11月3日までに260人を超え、昨年より3倍近く、過去15年間で最悪の事態になったことがわかりました。イスラム武装勢力「パキスタンの反政府勢力タリバン運動(TTP)」による妨害で、予防接種が遅れていることが要因となっています。タリバン運動は、ポリオの予防接種を禁じたため、タリバン運動の根拠があるアフガニスタン国境に近い部族地域で予防接種ができない状態が続いています。一方、軍が今年6月にタリバン運動の拠点でテロ掃討作戦を開始したため、避難民が部族地域外に流出し、数十万人が予防接種を受けたという動きもあります。

ポリオ撲滅への一層のご支援をお願い致します。



ガバナー補佐が選ぶ 魅力ある奉仕活動

IM第1組 ガバナー補佐 西宮 富夫

(箕面RC)

池田RC 「タイ子供達支援事業の長期継続」

2008年にタイ3330地区ナコンパトムロータリークラブと共同でタイの小学校に浄水器を1台寄付。翌年2009年、池田ロータリークラブ55周年事業として、マッチンググラントにより15台寄付。2010年、継続して浄水器3台寄付と小学校

のトイレの改修工事。2011年は小学校に図書への寄付。2012年は池田RC、60周年事業でグローバルグラントにて歯科治療機器を3台寄付。

5年間タイに継続して事業をおこなっております。



池田くれはRC 「社会奉仕・青少年奉仕共同事業」

11月24日(月)社会奉仕・青少年奉仕共同事業として、池田市母子寡婦福祉会の皆様を招き、USJで思う存分アトラクションを楽しみ交流を深めた。

今話題のハリーポッターのお城に入る頃には子供も大人も夢の世

界へ。湖に浮かぶレストランにて遅めのランチタイムを楽しみ、世界一と言われるクリスマスツリー・天使のくれた奇跡Ⅱ・パレードに大満足し帰路に。親子共々、米山奨学生、我々も明日への元気に満ち、童心に帰った日となった。



豊中RC 「出前授業とその新たな展開」

当クラブでは2001年より豊中市内の小・中学校を主要な対象として、会員がその専門あるいは特に興味を持つことを主題とする出前授業を行ってきた。その成果は、2660地区と当クラブホームページに公表している。

今後は、他の都市の学校にも対象を広げるとともに、教員免許を必要としない授業への協力・支援、生涯教育、会員の専門性を生かした公開フォーラムの開催、教育の世界への四つのテストの精神の普及などに展開する。



豊中千里RC 「カンボジア僻地における健康診断」

カンボジア僻地では適切な医療が受けられず苦しんでいる住民が多数存在し、現代医療が求められています。

現地住民に対し診療を行い、医薬品を配布すると共に現代医療の啓蒙を行うため、1年に2回、1回に

4日間、カンボジア僻地の公共性の高い場所で、医師・看護師・薬剤師による医療を行っています。

また、現地住民の健康状況の情報収集と問題点の把握に努め、今後の支援に役立てています。



豊中南RC 「子どもに夢と感動をプロジェクト」

豊中南ロータリークラブでは音楽を通しての青少年の育成、並びに、社会教育活動を支援することを目的として、豊中市に拠点を置く大阪音楽大学ご協力のもと「子どもに夢と感動をプロジェクト」事業を実施しています。

全国レベルに達した音楽活動を行っている学校が珍しくない豊中市。市の提唱する音楽を通じたまちづくり活動がさらに市域全体に広がるように、中古楽器を集めて教育現場に配分して役立てていただくという事業を行っています。



箕面RC 「大阪水上隣保館遥学園支援活動」

児童福祉施設『社会福祉法人大阪水上隣保館 遥学園』への生活物資支援を実施しています。

1年間を通して衣服、おもちゃ等の物資を集め、届けています。今年度の地区補助金により、同施設にアルトサックス2本を寄贈しまし

た。公的支援が得られない衣食住以外の物資の寄付により、子供達のクラブ活動を充実させ、生きる喜びを見出してもらうのが目的です。「ロータリーの光」で、遥学園を少しでも明るくすることができました。



箕面千里中央RC 「フィリピン・ハンボンガン島小学校支援」

箕面千里中央ロータリークラブでは、フィリピンのハンボンガン島の小学校への支援を続けております。これまでに、コンクリートブロックの防潮塀や集会用野外ステージの建設並びに食料支援を行ってまいりました。

このプロジェクトは当クラブの奥井会員が以前より大阪府海外移住家族会の奉仕事業に関わられ、セブ島の学校関係者と親しくされていたことが発端となっております。本年度も会長はじめ3名の会員が1月に訪問を予定しております。



IM第2組 ガバナー補佐 簡 仁一

(茨木RC)

茨木RC 「子供たちとのふれあい・出前授業」

職業奉仕委員会の【出前授業】を市立畑田小5年生対象に行いました。テーマは「物流のしくみ」。

当日は、体育館で30分の講義の後、運動場で保冷車(3t)を使っての体験学習を行いました。実際に運転席やパワーゲートに乗るなど、

児童たちは大喜び。

質疑応答では、大人顔負けの専門的な質問がでるなど、児童たちの興味と好奇心は途切れることがありません。さわやかな秋晴れの下、とても思い出に残る授業になったと思います。



茨木東RC 「変わりゆくふるさと」

今年度会長のテーマ三共(共に生き、学び、行う)に沿って、東日本大震災の復興支援と慰霊の旅を実施しました。

当初支援の陸前高田市に赴き、震災ガイドの方の説明で、高台と海岸線から変わりゆく町(巨大なベ

ルトコンベアーによる嵩上げ工事等)を、心情込めて熱く語られる様子に多くの事を学びました。

さらに、友好クラブ盛岡西北RCと交流し、支援継続を協議できました。



茨木西RC 「バランスのとれた奉仕活動」

茨木西RCは創立21年、会員数若干26名の小クラブであります。親睦とバランスの良い奉仕活動を毎年心がけて参りました。

今年度、上半期で既に人道的国際奉仕(タイとカンボジア)、社会奉仕活動(特別支援学校援助と交

通標識設置)他、新たにロータリーデー(於茨木市市民祭り)を開催、ポリオ・プラスの広報と募金活動を実施致しました。下半期、当クラブはさらに奉仕活動を通じて親睦を深め、次世代へ引き継げるクラブ作りを目指して参ります。



千里RC 「2000回記念例会」

平成26年12月2日の例会が、我がクラブの2000回目の記念すべき例会になりました。この節目の例会をお祝いすべく、元RI理事の千玄室様を講師にお迎えし、「みんなで仲良く」と題してご講演を頂きました。また当日をロータリーデ

ーとして、来賓に泉ガバナー様始めパストガバナーの皆様、北摂12RC等の会長幹事様始めロータリー関係者の皆様その他、普段関係の深い団体等から幅広くお客様をお迎えし、ロータリーを知ってもらう機会となりました。



千里メイプルRC 「誇れるラオスにおける保健衛生活動の支援」

私達のクラブは非常に小さなクラブですが、「クラブ創立の意志と思い」を各会員が認識しながら、特色のあるロータリー活動を行っています。誇れる活動の第一は「ラオスにおける保健衛生活動の支援」です。スタートはWCS分担金を拠

出した時で10年を迎えました。

きっかけは、長年ラオス北部で保健衛生教育活動をしていた現日赤看護大学講師・山本加奈子氏を支援したことです。

本活動は今後も国際奉仕の一環として続ける所存です。



摂津RC 「先天性免疫不全乳幼児救済プロジェクト」

摂津RCでは今までも様々な国際奉仕活動に取り組んでおりましたが、2013-14年度はグローバルグラント(GG)を活用し、遺伝子スクリーニング機器をトルコ・アンカラ大学へ贈呈致しました。免疫不全を乳幼児の段階でスクリーニングすることで、発症する前に治療を行えば、90%を超える成功結

果が得られます。

第2660地区DDF\$26,450、第2430地区(アンカラ)\$3,050、摂津・ガジオスマンパサ各クラブで\$3,000づつとWFを合わせ、\$68,000(約700万円)の大型プロジェクトが完了し、トルコのより多くの医療関係者が適切な診断を行われることを祈念いたします。



吹田RC 「新地区補助金を活用した人道的支援活動」

ミャンマーの2つの村に、きれいな飲料水を提供する井戸を1基と衛生的なトイレ40基を設置し、住民の病気予防と衛生状態の改善を通じて健康に対する意識を高めることが目的です。

15年前現地のNGOを活用し、

小学校へ145基の井戸と2基のモーター式深井戸を設置、一年の調査研究の上、新地区補助金を活用し、きれいな水に衛生的なトイレを加え支援活動を行っている。



吹田江坂RC 「新世代奉仕」

2006年春のライラのホスト、関西大学RACの立上げ、提唱クラブとなり、3年前にはニコニコキャンプのホストをさせて頂きました。この9年間で地区青少年活動委員会に連続して出向、内2名の委員長を輩出しております。職業奉仕委員会も地元の小学校に出前授業を行って7年目を迎えます。次世代を担う子ども達に

将来、仕事の選択のヒントになるのではないのでしょうか。今後共、新世代奉仕を軸に活動して行きたいと思っております。又、関西大学RACを卒業したメンバーが他RACに再入会し活躍しており、提唱を続けて参りたいと思っておりますが、資金面を含め幾多の困難が予測されます。ご理解の上、地区のご協力もお願い致します。



吹田西RC 「地元小学校へのバスケットゴール一式寄贈」

今年度の社会奉仕事業は、地元の小学校の校長先生から体育館の耐震化工事に伴い、バスケットゴールの片方が撤去され大変困っている、という要請を受け、クラブ内で検討の上、地区補助金を活用しゴール一式を寄贈しました。

寄贈式では、児童たちとフリースローの対抗試合を行ない、児童たち若い世代の役に立てた事への喜びを噛み締めながら、さわやかな汗をかく事ができました。

今後も地元地域への奉仕活動を大切に考え、継続活動します。



高槻RC 「60周年記念継続事業について」

5年間の継続事業の初年度として、地域社会を発展させる。次世代リーダーの育成・支援を行うため、市内高校の吹奏楽部部員を対象に日本の吹奏楽界で著名な指導者である丸谷明夫氏を講師に合同練習会を予定。それにより音楽のすばらしさを再認識し、人とコミュニケーションを図る事の大切さを学ぶ場とし、特に中学

生との連携において、良きリーダーシップを発揮できることをねらいとします。平成27年2月8日に高槻現代劇場大ホールにて300名の学生参加、丸谷氏指揮による合同合奏を予定しており、また当日は高槻ロータリーデーとして、ロータリー、学校関係者はじめ、多数の鑑賞者と共に音楽の素晴らしさを共有したいと思っております。



高槻東RC 「ロータリーデー開催」

当クラブは平成26年9月23日、高槻現代劇場において、20周年を迎えた演劇同好会「はぐるま座」を中心に、保育園や小学校の「子供太鼓」、三味線や踊りの会にもご参加いただき、ロータリーデー「高槻夢の懸け橋・手に手つないで作る

友の輪」を、開催しました。

出演者を含め700名を超える方々にご来場いただき、「はぐるま座」は、十八番の「国定忠治」を公演し、盛会のうちに終わりました。



高槻西RC 「青少年交換プロジェクト」

高槻西RCはクラブ創立以来26年間、青少年交換を中心とした奉仕活動を行ってきました。

本年度は、7月にオーストリアからの学生10名を迎えて「オーストリア大学生日本視察・交流プログラム」in大阪を大阪北RCと共同して

主催し、日本の伝統文化や大阪の文化などに触れる機会と交流の場をもちました。

来年4月には、青少年交換来日学生および派遣学生を対象とした恒例の座禅・お茶会を予定しています。



コーディネーターニュース

「RI戦略計画」から「クラブの戦略計画」へ

第2ゾーン ロータリーコーディネーター

金杉 誠

(横浜西RC)

2014年3月に国際ロータリーは、ロータリアン67,000人に対してRI戦略計画に関するアンケート調査を実施いたしました。その結果RI戦略計画への支持は極めて高く、又地区やクラブで戦略計画を立てる必要性に対しても97%のロータリアンが賛成をしております。

一方クラブで戦略計画があるという回答は45%となっておりますが、さて皆様方のクラブは如何でしょうか？ 私が実際に各地区の研修に呼ばれた時の感触では、クラブで戦略計画を立てて実行しているクラブは、未だほんの一握りではないでしょうか？「又RIが難しいことを言ってきたな、ここは少し様子を見て」と言ったところではないでしょうか？

戦略計画は皆様方の為のものです。ロータリーという組織は本質的に分権的なもの。即ち各クラブが自由に運営できる部分が非常に多い。それはそれでよいことだと思いますが、一方クラブにすべてを任せると単年度主義の弊害というものも目立ってきたように思われます。

自分が会長の1年間頑張ればよい、前例踏襲を由とする文化です。これがもし営利企業であったら如何でしょうか？ 売り上げが三分の二に減ったら何かしかるべき対策を立てるのではないのでしょうか？ それも長期的な方向性を。皆様方が本当にロータリーを好きならば(そう信じていますが)、是非立ち上がって頂きたいのです。

現実には先ほどのアンケート調査でも戦略計画を持っているクラブのほうが、そうでないクラブよりも会員満足度が16%も良いという結果が出ております。も

ちろんロータリーの性質から言って決して強制しているわけではありません。問題が多いと感じたらこうしたら如何ですかとのご提案です。

RI戦略計画は120万人のロータリアンの為のものです。皆様方のクラブに同じようなものを求めているわけではありません。10人のクラブや100人を超えるクラブ、地方のクラブや都会のクラブ、全部同じようなものを作る必要は全くないのです。

時々「戦略計画立案ガイド」が使い難いという声も聞きますが、それは参考にする程度で十分です。大切なことはクラブのメンバー全員が参加して、皆平等な立場で前向きな声を収集するということです。

又良く時間がないと言う声も聞きます。例会の時間を使えば良いのではないのでしょうか？ 何も例会の時間は卓話を聞かなければいけないという決まりなんかありません。自分たちのクラブを少しでも良くするために、皆で話し合いをしたほうが時にはよほど盛り上がるのではないのでしょうか？

戦略計画策定にあたってのポイントを、私なりに考えますと、会員増強計画は外せないと思います。組織改革や無理のない広報計画、クラブによっては合併あるいは新クラブの設立も必要かもしれません。奉仕活動の現状と将来、例会の柔軟性の確保や経費の見直し、リーダーシップ研修等々。もちろん全部網羅する必要などないのです。

肝心なことは形式ではなく、自分たちのクラブがより良くなるための方策を、皆で良く膝を交えて話し合ってください。そしてどんなに簡単でもよいからそれをまとめれば立派な戦略計画だと思います。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 10月末 全国寄付金合計額	548,703,538円	(前年度比3,650万円増)
第2660地区寄付金合計額	35,960,250円	(前年度比0.91%減)
全国寄付合計トップ10		
1. 第2770地区	42,174,200円	6. 第2690地区 31,464,740円
2. 第2750地区	37,372,670円	7. 第2590地区 30,627,100円
3. 第2650地区	36,780,404円	8. 第2580地区 26,971,450円
4. 第2660地区	35,960,250円	9. 第2790地区 19,038,280円
5. 第2760地区	31,751,000円	10. 第2610地区 16,217,000円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2014年10月)。

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
簡 仁一	3回目	茨木RC	田所 伸浩	1回目	大阪RC
張 虞安	10回目	交野RC	蔦田 守弘	1回目	大阪RC
村上 元昭	4回目	高槻東RC	壁 憲一	2回目	大阪RC
田中 孝男	1回目	吹田西RC	早嶋 茂	3回目	大阪RC
西村 元秀	1回目	吹田西RC	竹中 統一	5回目	大阪RC
木田 昌宏	1回目	吹田西RC	近藤菜穂子	1回目	大阪ネクストRC
榎原 一滋	1回目	吹田西RC	乙部 浩司	1回目	大阪城東RC
田中 慶一	2回目	吹田西RC	山本 健策	1回目	大阪城東RC
本田 智教	2回目	吹田西RC	高山 剛和	1回目	大阪城東RC
中堀 和英	4回目	吹田西RC	高橋 俊光	3回目	大阪城東RC
河邊 哲郎	6回目	吹田西RC	佐伯 爲次	16回目	大阪城南RC
尾家 亮	6回目	吹田西RC	井上 隆智	3回目	大阪天王寺RC
家村 武志	7回目	吹田西RC	古田 鶴彦	4回目	大阪天王寺RC
橋本 徹也	8回目	吹田西RC	和田 健	4回目	大阪天王寺RC
瀧川 紀征	8回目	吹田西RC	岸本 良一	4回目	大阪天満橋RC
小林 哲	9回目	吹田西RC	坂本 一民	6回目	大阪天満橋RC
小川 勉	7回目	吹田西RC	樋口喜久男	1回目	大阪南RC
井上 暎夫	11回目	千里RC	新開 隆浩	1回目	大阪南RC
古城 紀雄	2回目	千里RC	山本 和良	1回目	大阪南RC
萬年 成泰	3回目	千里RC	天野 直樹	1回目	大阪南RC
笠原隆之助	7回目	千里RC	篠原 準治	1回目	大阪南RC
熊本 辰視	1回目	大阪RC	豊川 總雄	1回目	大阪南RC
永田 武全	1回目	大阪RC	植田 圭一	1回目	大阪南RC
岡島 正幸	1回目	大阪RC	横山 慶治	1回目	大阪南RC
水野 明人	2回目	大阪RC	中村 剛	1回目	大阪南RC
伊藤 勲	3回目	大阪RC	永木 祥弘	1回目	大阪南RC
吉川 邦英	5回目	大阪RC	下條 泰利	1回目	大阪南RC
岸本 忠三	8回目	大阪RC	暮松 毅	2回目	大阪南RC
松澤 佑次	2回目	大阪RC	中島 成和	2回目	大阪南RC
塩野 秀作	4回目	大阪RC	伊井 智昭	3回目	大阪南RC
林 紀夫	1回目	大阪RC	小山 博記	3回目	大阪南RC

氏名	回数	クラブ名
林 信幸	3回目	大阪南RC
上田 豊	4回目	大阪南RC
山口多賀司	4回目	大阪南RC
鈴木 慶一	4回目	大阪南RC
清水 裕	6回目	大阪南RC
川端 康弘	6回目	大阪南RC
小谷 公穂	7回目	大阪南RC
中川 静夫	1回目	大阪難波RC
立花 英司	1回目	大阪難波RC
丹下 慎司	1回目	大阪難波RC
米澤 勉	1回目	大阪難波RC
松田 禎胤	1回目	大阪難波RC
森田 納	1回目	大阪難波RC
森 圭司	1回目	大阪難波RC
松田 琢志	2回目	大阪柏原RC
榊原 正峰	4回目	大阪柏原RC
石崎 昭	5回目	大阪柏原RC
山本 光勇	7回目	大阪柏原RC
新田 信昭	1回目	大阪北RC
砂川 裕幸	1回目	大阪北RC
小島 弘	1回目	大阪北RC
庄司 勝	1回目	大阪北RC
黒田 勝彦	1回目	大阪北RC
熊村 秀人	1回目	大阪北RC
堤 裕成	1回目	大阪北RC
辻本希世士	1回目	大阪北RC
竹田 雅幸	1回目	大阪北RC
中村 富也	1回目	大阪北RC
中村 光孝	1回目	大阪北RC

氏名	回数	クラブ名
盛岡 弘展	1回目	大阪北RC
植田 昌克	2回目	大阪北RC
中本 高志	2回目	大阪北RC
松下 靖祐	2回目	大阪北RC
中西 憲治	3回目	大阪北RC
河田 一彦	3回目	大阪北RC
吉田 邦男	3回目	大阪北RC
松岡 忠幸	3回目	大阪北RC
田中 真人	3回目	大阪北RC
三宅 侃	3回目	大阪北RC
河村 禧郎	4回目	大阪北RC
松平 佳敬	4回目	大阪北RC
森 禎良	5回目	大阪北RC
山本 雅昭	6回目	大阪北RC
菅生 浩三	7回目	大阪北RC
荒井敬一郎	9回目	大阪北RC
陳 思乾	16回目	大阪淀川RC
山内 邦夫	4回目	池田くれはRC
三好 洋二	5回目	池田くれはRC
天野 正亮	3回目	東大阪東RC
石田 肇	3回目	東大阪東RC
表 康之	6回目	東大阪東RC
松尾 宗好	2回目	豊中RC
関谷 洋子	2回目	豊中RC
藤谷 和憲	1回目	豊中千里RC
堀田 修平	50回目	枚方RC
吉田 潤	1回目	枚方RC
増田 俊	4回目	箕面千里中央RC

米山功労法人

次の方に米山功労法人の称号が贈られました(2014年10月)。

会社名	表彰名	クラブ名
(株)アイドマ	岩本 潤三	大阪大淀RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2014年10月)。

氏名	クラブ名
稲垣 正人	大阪難波RC
滋野 雅之	大阪難波RC
松浦 孝尚	大阪難波RC

2014年11月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第 1 組	池田	36	35	1	1	2	-1	4	70.46	53.79	
	池田くれは	28	30	2	2	0	2	2	88.46	86.23	
	箕面	28	29	3	1	0	1	4	78.03	74.18	
	箕面千里中央	23	24	0	1	0	1	4	98.59	90.77	
	豊中	43	43	3	0	0	0	4	80.53	66.99	
	豊中南	27	27	2	0	0	0	4	70.67	61.20	
	豊中千里	35	35	3	1	1	0	4	86.39	81.39	
	小計	220	223	14	6	3	3		81.88	73.51	
	I M 第 2 組	茨木	26	26	3	0	0	0	4	94.68	85.78
		茨木東	41	41	4	0	0	0	4	78.91	59.06
茨木西		27	27	6	0	0	0	4	82.41	76.21	
千里		36	36	0	0	0	0	4	86.81	79.82	
千里メイプル		21	23	3	2	0	2	4	91.95	83.91	
摂津		33	34	1	2	1	1	4	90.87	78.98	
吹田		60	60	10	1	1	0	4	97.80	91.37	
吹田江坂		32	34	2	3	1	2	3	98.96	92.71	
吹田西		47	47	2	0	0	0	2	100.00	88.45	
高槻		45	48	5	3	0	3	4	89.59	80.40	
高槻東		38	38	2	0	0	0	4	92.60	85.58	
高槻西		21	20	0	0	1	-1	4	97.50	77.50	
小計		427	434	38	11	4	7		91.84	81.65	
I M 第 3 組	大東	39	40	0	1	0	1	3	100.00	83.51	
	大東中央	27	28	11	1	0	1	4	72.01	63.99	
	枚方	43	45	0	2	0	2	3	88.89	83.05	
	門真	31	32	6	1	0	1	4	95.19	82.36	
	交野	33	33	1	0	0	0	4	73.91	72.38	
	香里園	16	19	1	3	0	3	4	86.57	79.13	
	くずは	49	52	0	3	0	3	4	76.28	71.30	
	守口	41	42	4	1	0	1	4	80.63	73.75	
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	75.93	67.59	
	寝屋川	43	43	5	0	0	0	4	87.21	78.56	
	四條畷	12	12	0	0	0	0	4	80.86	80.86	
	小計	361	373	32	12	0	12		83.41	76.04	
	I M 第 4 組	東大阪	73	74	0	1	0	1	4	81.78	70.38
東大阪中央		27	28	0	1	0	1	2	83.36	72.80	
東大阪東		60	63	4	3	0	3	4	84.26	62.97	
東大阪みどり		27	28	1	1	0	1	4	74.11	58.04	
東大阪西		31	32	0	1	0	1	3	96.38	71.59	
大阪柏原		31	31	2	0	0	0	4	85.47	77.41	
大阪ネクスト		18	19	8	1	0	1	3	75.44	56.14	
八尾		59	58	0	1	2	-1	4	80.39	65.58	
八尾中央		16	16	0	0	0	0	4	78.16	69.09	
八尾東		25	27	1	2	0	2	3	75.00	64.19	
小計		367	376	16	11	2	9		81.44	66.82	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第 5 組	大阪中央	46	51	6	5	0	5	4	85.74	71.47	
	大阪堂島	31	30	2	0	1	-1	2	94.82	69.35	
	大阪北	188	192	0	7	3	4	4	74.38	58.00	
	大阪北梅田	50	57	5	7	0	7	2	75.44	67.54	
	大阪西	75	77	0	3	1	2	2	84.85	78.03	
	大阪大淀	38	38	0	0	0	0	3	87.38	81.55	
	大阪リバーサイド	35	34	6	0	1	-1	4	86.26	66.63	
	大阪西北	49	50	0	1	0	1	3	84.83	77.14	
	大阪そねざき	42	42	23	1	1	0	4	97.53	80.86	
	大阪梅田	20	25	1	5	0	5	3	93.79	87.85	
	大阪梅田東	34	37	0	3	0	3	4	83.82	69.85	
	大阪ユニバーサルシティ	35	35	5	0	0	0	3	79.80	67.68	
	小計	643	668	48	32	7	25		85.72	73.00	
I M 第 6 組	大阪	261	273	3	14	2	12	3	76.30	55.54	
	大阪東	119	125	0	7	1	6	4	92.94	78.11	
	大阪東淀ちゃやまち	29	29	3	0	0	0	2	84.21	78.95	
	大阪城東	42	43	5	2	1	1	4	87.29	82.50	
	大阪中之島	27	29	1	3	1	2	4	94.82	79.30	
	大阪大手前	34	36	5	2	0	2	4	91.67	74.92	
	大阪城北	43	49	3	6	0	6	4	96.07	82.68	
	大阪天満橋	62	64	0	2	0	2	4	83.96	78.53	
	大阪鶴見	30	31	0	1	0	1	4	87.10	80.29	
	大阪淀川	28	30	4	2	0	2	4	91.66	74.49	
	新大阪	33	33	1	0	0	0	4	90.15	84.85	
	小計	708	742	25	39	5	34		88.74	77.29	
	I M 第 7 組	大阪フレンド	26	26	3	1	1	0	4	89.08	69.16
大阪御堂筋本町		57	57	2	1	1	0	4	85.36	75.36	
大阪南		152	163	0	13	2	11	4	82.95	72.87	
大阪難波		53	53	0	0	0	0	4	92.93	78.18	
大阪なにわ		24	26	3	2	0	2	3	86.66	81.33	
大阪南西		14	14	3	0	0	0	3	80.05	77.27	
大阪西南		96	102	24	6	0	6	4	92.51	69.85	
大阪船場		40	40	2	0	0	0	2	96.50	92.50	
大阪心斎橋		38	38	0	1	1	0	4	95.36	86.45	
大阪うつば		33	34	3	1	0	1	4	89.94	80.25	
小計		533	553	40	25	5	20		89.13	78.32	
I M 第 8 組		大阪平野	31	34	2	3	0	3	4	99.17	90.05
		大阪イブニング	12	12	2	0	0	0	4	83.33	68.75
	大阪城南	50	51	0	1	0	1	4	98.92	91.38	
	大阪咲洲	17	17	1	1	1	0	4	88.14	74.81	
	大阪天王寺	55	58	0	3	0	3	4	92.13	82.27	
	大阪帝塚山	51	51	4	0	0	0	4	95.70	82.84	
	大阪東南	48	48	0	0	0	0	4	95.83	68.23	
	大阪アーバン	26	27	7	1	0	1	4	94.44	87.96	
	大阪みおつくし	30	30	18	1	1	0	3	53.33	51.11	
	小計	320	328	34	10	2	8		89.00	77.49	

合 計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率

文庫通信 (327号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

古典文献より (3)

- 「ロータリー感想」 佐藤昌介 1933 2p (札幌ロータリアン第一号)
- 「ガバナーズ、マンスリ、レター」 井坂 孝 D.70 1933 9p (第八号)
- 「何故にロータリーを疑ふ」 村田省蔵 D.70 1933 3p (ガバナー月報第六信)
- 「伊達にはつけぬ襟のバッヂ」 村田省蔵 D.70 1934 1p (ガバナー月報第七信)
- 「米山長老の大演説」 米山梅吉 D.70 1937 3p (ロータリー月報第四報)
- 「戦争と宣伝」 米山梅吉 D.70 1937 5p (国際ロータリー月報十一月号)
- 「僕はロータリーをやめぬ」 D.70 1937 1p (国際ロータリー月報十一月号)
- 「村田元ガバナーに『非常時ロータリアンの覚悟』を聞く」
一記者 D.70 1937 4p (国際ロータリー月報十二月号)
- 「ロータリー倶楽部を善用せよ」
廣田弘毅 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報四月号)
- 「ロータリーとは何ぞやー某大官に対してロータリーを説明す」
D.70 1938 2p (国際ロータリー月報四月号)
- 「ロータリー精神の積極的発揚」
里見純吉 D.70 1938 2p (国際ロータリー月報五月号)
- 「日満ロータリー解散文書」 米山梅吉 1940 3p (郡山R.C.三十五年史)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

仲 庭 裕 明 会員 (大阪堂島RC)

2014年11月8日 逝去 (享年74歳)

会長、幹事、理事
社会奉仕委員長、会員選考委員長、
出席委員長、会報雑誌・広報委員長、
出席プログラム委員長、クラブ奉仕委員長、
会報・雑誌委員長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

池 田 正 会員 (大阪御堂筋本町RC)

2014年12月5日 逝去 (享年83歳)

会長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター (大口寄付者)

岡 本 直 文 会員 (池田くれはRC)

2014年12月9日 逝去 (享年86歳)

会長、幹事、
各委員会委員長歴任

米山功労者
ポール・ハリス・フェロー

斧 原 邦 夫 会員 (大阪ユニバーサルシティRC)

2014年12月6日 逝去 (享年75歳)

会長、理事
ロータリー財団委員長、米山奨学会委員長、
会員選考研修委員長

ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■**会長変更と事務局住所変更**

大阪みおつくしロータリークラブ

①会長変更 会長：溝辺美重

②事務局住所変更

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町1-5-27

フェニックス昭和町ビル9F フェニックス内

TEL (06)6626-6229 FAX (06)6626-6219

■**事務所移転及び例会場変更**

高槻東ロータリークラブ

①新事務所 〒569-1116 高槻市白梅町4-1 西武高槻店 2階

TEL (072)669-7200 FAX (072)669-7264

②新例会場 西武高槻店 6階 多目的ホール TEL (072)684-5379 (直通)
(2015年1月16日より)

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
- 地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)
- 地区副代表幹事 新井 文三 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 澤田 正實 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 渡邊 純一 (大阪帝塚山RC)
- 事務局長 栗正 久美

2014-2015年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	泉	博朗
地区代表幹事	川上	富清
地区副代表幹事	新井	文三
事務局長	栗正	久美
事務局員	井上	望美
	加茂	春日
	船橋	美紗子
	杉本	亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

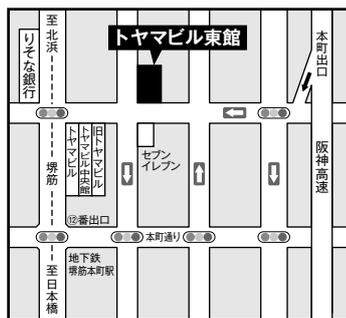
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp